

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 04-181337

(43)Date of publication of application : 29.06.1992

(51)Int.Cl.

G06F 12/00

G06F 13/00

(21)Application number : 02-309669

(71)Applicant : HOKKAIDO NIPPON DENKI SOFTWARE KK

(22)Date of filing : 15.11.1990

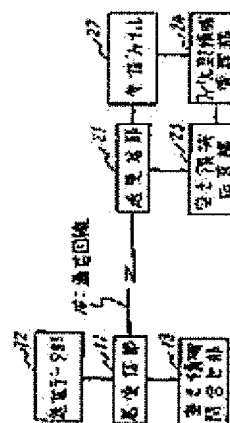
(72)Inventor : MATSUDA YASUHIRO

## (54) FILE TRANSFER PROCESSING SYSTEM

## (57)Abstract:

PURPOSE: To eliminate the need for exceptional processing which is performed when a receiving file area is exceeded on a reception side by returning the capacity of the receivable file free area on a reception side in response to an inquiry about the file free area from a transmission side and sending only a receivable amount of data on the transmission side.

CONSTITUTION: A transmission-side free area inquiry part 13 inquires the receivable file free area of the reception side before file transfer from a transmission data part 12. A reception-side transmission/reception part 21 once receiving this inquiry sends this inquiry to a free area answer part 23. A file free area control part 14 monitors the free area for a received file 22 at all times and counts its capacity, so a free area correspondence part 23 knows the capacity of the free area from the file free area control part 24 on receiving the inquiry and returns the capacity of the free area to the transmission side through the transmission/reception part 21. Consequently, data are prevented from being sent exceeding the reception-side file area and the need for exceptional processing is eliminated.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑤ 公開特許公報 (A) 平4-181337

⑥ Int. Cl.<sup>4</sup> 識別記号 庁内整理番号 ⑦ 公開 平成4年(1992)6月29日  
G 06 F 12/00 5 0 1 J 8844-5B  
13/00 3 5 1 E 7368-5B

審査請求 未請求 請求項の枚 1 (全2頁)

⑧ 発明の名称 フライル転送処理方式

⑨ 特 願 平2-309659  
⑩ 出 願 平2(1990)11月15日

⑪ 発 明 者 松 田 泰 弘 北海道札幌市中央区大通西4丁目1番地 北海道日本電気  
ソフトウェア株式会社内  
⑫ 出 願 人 北海道日本電気ソフト  
ウェア株式会社 北海道札幌市中央区大通西4丁目1番地  
⑬ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

発明の名称  
フライル転送処理方式

特許請求の範囲

通信回線を利用したフライル転送処理方式にお  
いて、送信側から受信側のフライル空き領域を確  
定するための空き領域問合せ手段と、この空き領  
域問合せ手段により問合せを受けた受信側からフ  
ライル空き領域を通知する空き領域応答手段と、  
受信側での受信用のフライル空き領域を常時監視  
し報告できるフライル空き領域管理手段とを有す  
ることを特徴とするフライル転送処理方式。

発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明はフライル転送処理方式、特に情報処理  
システムにおいて通信回線を利用したフライル転  
送処理方式に関する、  
(従来の技術)

従来、この種のフライル転送処理方式は、受信  
側における受信用のフライル空き領域の容量に既  
存なくデータ伝送を行ない、受信側のフライル領  
域を超えたデータ伝送が発生した場合に、送信側  
と受信側とは共にフライル領域を超えたことによ  
る例外処理を行なっている。

(発明が解決しようとする課題)

上述した従来のフライル転送処理方式は、フ  
ライル領域を超えたデータ送受信が発生した場合  
に、送信側と受信側とで例外処理を行なうが、地  
理が複雑で、かつ多くの処理時間を要するという  
欠点がある。

(課題を解決するための手段)

本発明のフライル転送処理方式は、通信回線を  
利用したフライル転送処理方式において、送信側  
から受信側のフライル空き領域を確認するための  
空き領域問合せ手段と、この空き領域問合せ手段  
により問合せを受けた受信側からフライル空き領  
域を通知する空き領域応答手段と、受信側での受  
信用のフライル空き領域を常時監視し報告できる

フライル空き領域管理手段とを有することにより  
構成される。  
(実施例)

次に、本発明について図面を参照して説明す  
る。

第1図は本発明の一実施例のブロック図であ  
る。第1図の英述例は送信側の送受信部11、送  
信データ部12および空き領域問合せ部13と受信  
側の送受信部21、受信フライル22、空き領域  
応答部23およびフライル空き領域管理部24  
と、送信側の送受信部11と受信側の送受信部2  
1とを結ぶ通信回線10とから構成されている。

以上の構成において、送信側の空き領域問合せ  
部13は、送信データ部12からのフライル転送  
に先立って、受信側に対して受信可能なフライル  
の空き領域の容量を問合せると、受信側の送受信部  
21はこの問合せを受けると、空き領域応答部  
23にこの問合せを伝える、フライル空き領域管  
理部24は常時受信フライル22の空き領域を監  
視してその容量を計数しているもので、空き領域

特開平4-181337 (2)

応答部23は問合せを受けると、フライル空き領域  
管理部24から空き領域の容量を知り、送受信部  
21を介して送信側へ空き領域の容量を送答す  
る。

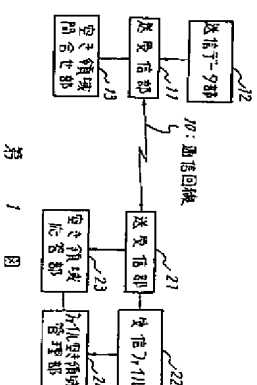
(発明の効果)

以上説明したように本発明は、送信側からのフ  
ライルの空き領域問合せに対して、受信側が受信  
可能なフライルの空き領域の容量を送答するの  
で、送信側は受信可能なデータ量のみ送信するこ  
とにより、受信側での受信フライル領域を超えた  
場合の例外処理を不要にするという効果がある。

図面の簡単な説明

第1図は本発明の一実施例のブロック図であ  
る。  
10...通信回線、11、21...送受信部、12  
...送信データ部、13...空き領域問合せ部、22  
...受信フライル、23...空き領域応答部、24...  
フライル空き領域管理部。

代理人 弁理士 内 原 晋



第 1 図